

～IMF は 2024 年の世界の経済成長率見通しを維持～

◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は 10 月 22 日に発表した「世界経済見通し」で、2024 年の世界の経済成長率（実質 GDP 伸び率）見通しを 3.2%と、2024 年 7 月に示した前回の見通しを維持しました。世界経済はソフトランディングという基本シナリオを維持しつつも、米欧と中国が関税引き上げを応酬する事態となれば、失速しかねないと指摘しました。また、2025 年の経済成長率見通しは、3.2%と 0.1 ポイント下方修正しました。

IMF は、2024 年の経済成長率見通しを、先進国は 1.8%と 0.1 ポイント上方修正し、新興国は 4.2%と据え置きました。各国・地域ごとでは、米国を、賃金の上昇などを背景とした個人消費の強さから 0.2 ポイント上方修正しました。一方、中国は不動産部門の不振や消費者心理の悪化から 0.2 ポイント下方修正しました。日本は、自動車業界の供給障害や前年の観光急増の反動を理由に 0.4 ポイント下方修正しましたが、実質賃金の上昇が消費を下支えするとの見方から 2025 年は回復を見込み、0.1 ポイント上方修正しました。ユーロ圏は、ドイツが製造業において苦戦していることを受けて 0.1 ポイント下方修正しました。

世界のインフレ率は、2022 年第 3 四半期にピークに達した 9.4%から、2025 年末には 3.5%まで低下する見込みです。IMF は、景気後退を回避しつつインフレ抑制に成功した各国・地域の中央銀行を評価しました。一方で、金融政策が意図した以上に経済成長に打撃を与え、新興国や途上国における政府債務負担を悪化させるリスクに世界をさらしていると指摘し、さらに、気候変動や戦争、地政学的な緊張が、食料やエネルギー価格の高騰を再燃させる恐れもあるとの見解を示しました。また、世界経済にとって最大の懸念材料は 11 月 5 日に投開票が迫る米大統領選であるとして、政策の不確実性を指摘しています。

◆ IMF「世界経済見通し」(2024 年 10 月時点)

	IMF見通し			
	2024 年	前回比	2025 年	前回比
世界	3.2%	0.0%	3.2%	-0.1%
先進国	1.8%	0.1%	1.8%	0.0%
米国	2.8%	0.2%	2.2%	0.3%
日本	0.3%	-0.4%	1.1%	0.1%
ユーロ圏	0.8%	-0.1%	1.2%	-0.3%
新興国	4.2%	0.0%	4.2%	-0.1%
中国	4.8%	-0.2%	4.5%	0.0%

(出所) IMF のデータをもとに JP 投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2879 号
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。